

# 平成26年度 南魚沼郡市算数部 活動報告

部長 駒形 哲宣

## 1 研究主題

「学ぶ楽しさや有用感をはぐくむ算数指導の工夫」

## 2 研究推進の概要

- (1) 研究推進計画の立案 5月 2日 (木)
- (2) 夏季休業中の一斉部会 8月20日 (水)
- (3) 各自授業実践
- (4) 授業研究
- (5) 南魚沼市学習指導センターとの共催研修

## 3 研修の実際

南魚沼市学習指導センターと活動計画段階から連携を図り、所属部員の資質・指導力向上をねらいとして取り組んできた。

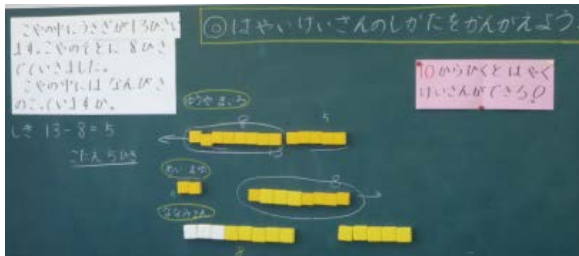
### (1) 夏季休業中の一斉部会

担当している学年の教科書・指導書・指導計画等を持ち寄り、学年毎に2学期以降の学習内容と具体的な指導方法を検討した。その際、小・中学校9年間の学びを見通し、担当学年の各単元が、上学年のどこへどのようにつながるか意識しながら研修を実施した。



### (2) 授業研究会

- ① 11月20日 (木) 赤石小学校 1年 「ひきざん」(2)



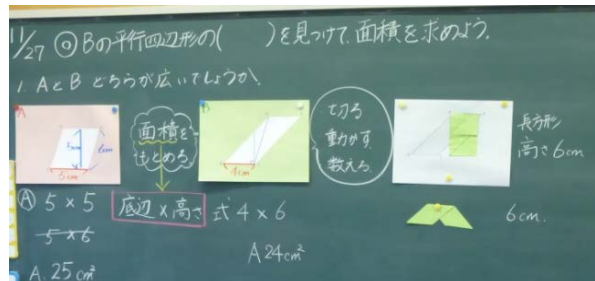
1年 ひきざん(2)

担任は、減加法のひき算ができるようにするために、まず、子どもたちに、10のまとまりを意識させた。次に、ブロックを使い、一人一人の考えが具体的に見えるようにした。最後に、全員が10のまとまりから引く考えのよさに気付いた。

- ② 11月27日 (木) 第一上田小学校

担任は、課題「平行四辺形の高さを見つける。」ことに迫るために、まず、平行四辺形の底辺をどこにするか確認した。底辺を決め、高さのみに焦点を絞り、課題解決に当たった。何を学ぶか具体的になったことにより、子どもたちの話し合いは、高さの決め方だけ向かった。

- 5年 「図形の面積」



5年 「図形の面積」

## 4 成果と課題

計画段階から、南魚沼市学習指導センターと連携を図ったことにより、全部員が研修テーマに向かって実践を積み上げることができた。また、一斉部会の教材研究により、小・中学校の学びの連続を意識した検討となり、2学期からの授業につながった。

